

## 止まり木



大阪市立横堤中学校

## 心のバリアフリー



本日の全校集会でお話しした内容を紹介します。

先週の土曜日、PTA主催の美化活動が行われました。1年生を中心の活動でしたが、たくさんの部活動前の2年生や保護者のみなさん、卒業生も参加してくれました。今回のテーマはもうすぐ卒業する3年生を気持ちよく送り出せるように、心を込めて掃除しました。校内外だけでなく、花壇にもきれいに花を植えてくれました。参加してくれた皆さん、ありがとうございました。

今日は、2年生が前にいてくれていますので、2月に行った人権学習について、少しお話ししたいと思います。2年生は障がい者学習として車いす体験や弱視体験、難聴体験を経験しました。その中でテーマになったのが“バリアフリー”です。バリア＝壁を、フリー＝なくそうということです。いろいろな場所の段差を解消したり、信号機の色や音で安全に渡れる工夫をしたり、駅などでよくみられる、黄色のでこぼこした帯状のラインなど、障がい者を取り巻く環境のバリアフリーももちろん大切です。しかし、今回2年生が最も学んだのが『心のバリアフリー』だったと思います。校長先生も以前、車いすで困っている方に、勇気を出して「大丈夫ですか？」と声をかけたことがあります。すると、その方は「大丈夫です」と返答されました。みんなもそうだと思いますが、人から「大丈夫？」と聞かれたら、反射的に「大丈夫」と答えてしましますよね。もちろん本当に問題なく行動できる人もいれば、少し無理でも、自分の力で頑張るんだと行動している方もいます。だから「何か手伝えることはありませんか」というように具体的に声をかけることが大切なんだと改めてみんなの学習を通じて、校長先生も学ぶことができました。せっかく声をかけたのに思ったような反応をされなくとも心のバリアフリーにして、見守ることも大切ではないでしょうか。そしてこのことは障がいがある人に対してだけではなく、すべての人に心のバリアフリーでなくてはなりません。今、みんなの周りにいる友達に対しても好きだから、嫌いだからだけで接するのではなく、本当に困っていないか、つらい思いをしていないかを感じ取り、「何かできることはない？」と声をかけ、寄り添うことのできる人間になってほしいと心から願っています。さあ、3年生は本当にあとわずかです。最後まで1、2年生に頑張り続けるその姿を見せてください。期待しています。